

# ぽこ・あ・ぽこ

Poco a Poco イタリア語で「少しずつ」という意味です。

発行 者 神戸婦人同協会 子供の家  
社会福祉法人 兵庫県尼崎市若王寺3-16-3  
〒651-0974  
tel 06 6491 8953 fax 06 6498 3444  
支援センター (tel. fax) 06-6491-1811  
E mail (子供の家) info@kodomonono-ie.org  
(支援センター) candy@kodomonono-ie.org  
URL http://www.kodomonono-ie.org

第32号 平成15年10月1日 発行



### 小学校運動会が開催されました。

秋を感じさせる風が心地よく当たる日も多くなりました。  
子どもたちは夏休みが終わってから毎日のように運動会の練習をしていました。  
その成果を発表する運動会が去る九月二十日に開催されました。  
朝のうちは台風の影響もあり曇りでしたが、途中で雨が降り出し、残念ながら午後の部は順延となつてしまいました。最初は暑くもなく良い運動会でしたが、昼食は子供の家に戻って食べることになつてしまいました。  
しかし、子供の家で生活している六年生の子どもが旗手として先頭で入場行進をしている姿はとて遅しく感じました。  
朝五時前より場所を確保するため、に中学生・高校生四人と職員一人で行なりましたが少し残念な結果となりました。



### バレーボールクラブ 第二十四回兵庫県児童福祉施設大会に出場しました。

子供の家バレーボールチームが今年で二回目の大会に参加しました。近くの市民体育館での練習も定期的の実施し目標は予選突破でしたが、他の施設の壁は厚く残念ながら敗退してしまいました。  
しかし、昨年とは比べものにならないくらい子どもたちは上達しており、来年は是非とも予選突破いや優勝を目指して頑張りたいと思います。

## 子どもたちの進路について

今年も高校進学や大学進学、就職を控えている子どもたちが五名います。  
子供の家では以前より高校への進学は全児童に勧められており、ほぼ何らかの形で進学を果たします。  
しかし、最近では大学への進学を希望している子どもが増加してきています。  
四年前に公立大学へ進学した子どもを筆頭に子供の家での大学への進学率は約四割です。一般家庭では特別高い割合とは言えませんが施設ではかなり高い割合です。  
では、なぜ大学進学が厳しいのかというと、ほとんどの子どもが高校まで施設で生活するということになれば親からの資金の援助は難しい子どもが多く、学力と費用の確保を両立していく必要があります。費用も学費等の費用と住居を確保するための費用が必要です。毎年個々の子どもたちの試算をすると百三十万円から百四十万円程度必要となります。これら両方が確保できて進学が可能となります。  
奨学金なども利用するよう工夫していますがなかなか厳しい現状です。  
施設を退所する子どもたちには「就職仕度金」という補助給付があるのですが、なぜか「進学仕度金」なるものは存在せずとも大変です。  
今年も、大学へ進学し、社会福祉の勉強をしたいと希望している高校三年生男子がいます。これからは本人も職員も頑張り所です。

## 救命講習会が開催されました。

九月十九日に職員対象に救命講習を実施しました。  
心停止から十分が経過すると脳に大きなダメージを与え救命率が十％程度に低下することから、救急隊が到着するまでの間人工呼吸と心臓マッサージを実施することで救命率が上がるといふことです。  
子どもたちの援助をしていく上でこれらのスキルを職員が取得することは非常に重要であります。  
今回は時間の関係上、普通救命講習終了証の発行までではできませんでしたが、とても良い経験となりました。



## 職員親睦旅行

職員の親睦旅行が来る十月二十七日～二十八日と十一月四日～五日の日程で二班に分かれて実施されます。  
二年ぶりの再開で、親睦初参加の職員も多数います。  
今年和歌山県・白浜に温泉と観光の旅に出ます。  
いつも、忙しい勤務体制のため、この機会に親睦が図られればと思っています。



## 今月の行事予定

### 子どもの行事

- 四日 魚釣り
- 十一日 なかよし運動会
- 十二日 伊丹乳児院
- 十三日 オータムフェスティバル
- だんじり
- 十七日 小学校連合体育大会

- 十八日 幼稚園運動会
- 二十一日 小学校体育館・グラウンド  
開放
- 二十三日 幼稚園運動会
- 二十八日 小学校参観日
- 中学校合唱コンクール

## 職員研修

- 一日～三日 小舎制養育研究会
- 十二日～十三日 日本社会福祉学会
- 三十日～三十一日 母子保健セミナー

## 第三回施設内学習会

九月二十六日、子供の家において施設内学習会がありました。  
今回は危機管理（リスクマネージメント）について弁護士や学識者、大学院生、職員、児童家庭支援センター職員の名が参加して学習しました。

子供の家における様々な困難事例をもとに、その対応について検討したのですが、例えば、休日や夜間において子どもセンターや施設長、上級職員が不在の場合に不測の事態が発生した際には、その場にいる職員はどのように行動し判断を下げばいいのか、子どもの最善の利益を優先しつつも、きめ細かく、かつ後々も責任を果たせるような対応をとる必要があるが、それぞれの職員によって判断基準が違うのではないかと、その話がありました。  
その結果として、子供の家独自の危機管理マニュアルを学習会に参加したメンバーを中心に作成し、様々

な困難な場面において、職員が対処できるような体制を確立していくことが確認されました。  
次回の学習会は十月二十日の予定です。

## 編集後記

夏台風十五号が去り、一気に秋の気配を感じるようになりました。  
秋の一大イベントの運動会も悪天候でしたが無事終了しました。  
秋は「スポーツの秋」「食欲の秋」などと言われるように過ごしやすい季節なので、子どもたちと一緒にスポーツをして過ごす時間を多く持てるようにしたいと思います。

